

タイトル	筆塚集会 ～物の命を大切に～
名称（学校・地域）	千曲市立上山田小学校
日時・場所等	
ホームページアドレス	<a href="mailto:kamiyamadasho@school.chikuma-ngn.ed.jp">kamiyamadasho@school.chikuma-ngn.ed.jp</a>



上山田の地は教育に熱心な地域であり、多くの筆塚が建てられています。昭和57年、筆塚の存在を知った4年生の子ども達が、「字が上手になりたい」とか「1年間勉強させてくれてありがとう」の感謝の意を表していくために、私達の学校にも筆塚がほしいという願いが出されました。その願いが全校に広まり、父母教師会

(PTA)や教育委員会の協力もあり、上山田小学校に筆塚が建立されました。建立するにあたって全校児童が千曲川まで行って石を運んだり、筆塚の石ほりを行ったりして全校が一丸となって筆塚造りに励んだそうです。それらの様子について昭和57年度卒業記念制作の版画作品に表されています。そして筆塚が建立された11月27日を筆塚の日として決めました。



第1回の筆塚建立記念誌に載せた6年生の子どもの作文には次のことが書かれています。「この筆塚の意味は2つあると思います。一つは使い古した筆・鉛筆を埋めて供養する、という意味があり。もう一つは色々なことを教えてくれた先生に感謝の気持ちとして筆塚を建てるのです。・(中略)・将来この筆塚を見て、そこに埋められた自分の鉛筆、みんなで石を拾いに行ったこと、記念に埋めた石のことを思い出し、いつまでも筆塚と共に、思い出を忘れずに、大事にしたいと思います。」

以来30余年にわたって上山田小学校では「ものの大切さ、命の大切さを筆塚の心として」大切に受け継いでいます。



平成26年度の筆塚集会では児童会が中心となって筆塚集会を開き、寸劇、学校長や児童代表のあいさつ、文房具の埋納を通して「ものの大切さや、もの・人への感謝の心」を育むことができました。この集会があるからこそ、一人一人、ものを大切にすることの再確認がされていることを、筆塚文集からうかがうことができます。